

インターンシップの種類

	① 博士／修士のためのインターンシップ (自然研授業科目)	② インターンシップ (自然研授業科目)	③ 博士ジョブ型研究インターンシップ (自然研授業科目)	④ オープン・カンパニー、 インターンシップ (キャリア・就職支援オフィス)	⑤ オープン・カンパニー (1day (短期) インターンシップ)	
対象	博士前期/後期課程学生	博士前期課程1年	博士後期課程学生のみ	博士前期/後期課程学生	博士前期/後期課程学生	
タイプ	体験型		直接雇用型 	会社説明会・セミナー型 体験型 プロジェクト型 		
実施主体	自然科学研究科	企業・団体	文部科学省／自然科学研究科	企業・団体		
目的	自身の研究へのフィードバック 学生のキャリアパスの形成 社会に出る前の必要な知見の習得	自身の研究へのフィードバック 各社の仕事内容の理解を深める	博士学生のキャリアパスの形成	自身の研究へのフィードバック 学生のキャリアパスの形成 社会に出る前の必要な知見の習得	学生のキャリアパスの形成 社会に出る前の必要な知見の習得	
選定ポイント	＜こんな人にオススメ！＞ 自身の研究や興味を業務体験を通して深めたい 社会で働くイメージを体験を通して実感したい 県内企業や公的機関の業務に深い関心がある	＜こんな人にオススメ！＞ 志望業界、職種がある程度定まっている 開催企業の社風や技術に深い感心がある	＜こんな人にオススメ！＞ 自身の研究を生かしたキャリアパスを探索している 具体的に明確な目標がある 志望する業界がはっきりとしている	＜こんな人にオススメ！＞ 1day (短期) :社会で働くイメージがつかめない 複数の業界で情報を得て視野を広げたい 自分がやりたいことが決まらない 志望業種を絞るため情報収集を考えている		
特徴	☑ 研究との関連性や学生の興味のマッチングを考慮した面談あり (公的機関も可!) ☑ 体験型なので企業のリアルな情報を得られる ☑ 短期型なので研究への影響を抑えつつ企業体験ができる ☑ 企業への打診・受入調整は専門職員が行う ☑ マナー、安全等の事前教育あり ☑ 交通費は大学支給、宿泊必要な場合は大学支給 ☑ インターンシップ期間は1～2週間 ☑ 修了後、学内外向けに報告会を開催 ☑ 希望者が多い場合は、履修人数制限をする場合あり	☑ 手続き書類等はシラバス参照 ☑ 指導教員に『博士前期課程・課程共通科目「インターンシップ」の単位認定について』を提出 ☑ 学務係に「自然科学研究科インターンシップ参加届」を提出 ☑ 研修後に指導教員へ参加証明書、報告書を提出 ☑ 指導教員が報告書により合否の判断を行い、単位を認定 ☑ 期間は原則として2週間以上 ☑ 研究科での斡旋なし	☑ ジョブディスクリプション (業務内容、必要とされる知識・能力等) が提示される。複数応募可！ ☑ 通常2か月以上で有給！！ ☑ 企業との個別面談相談 (オーブンドア) あり！ ☑ 長期間職場でのリアルな実地体験ができ、入社後に働くイメージがつかみやすい！ ☑ 仲介はアカリクが行う。応募オファー制度あり！ ☑ 修了後面談評価あり。評価書・評価証明書を発行 ☑ 採用選考活動に反映されることがある ☑ 受入選考あり (5月-11月)	☑ インターンシップ先探索ではインターンシップ募集要領ファイルを利用できる ☑ 「事前講座及びビジネスマナー」の動画があり、参加するための心構えやマナー学習が可能 ☑ 事後報告レポートの提出 (過去のものは閲覧可)	☑ 気軽に参加でき、就活ともリンク ☑ 複数の企業に参加でき企業比較ができる ☑ 1dayながら体験型もある ☑ 採用選考のエントリー受付案内や早期選考会の案内などのメリットがある ☑ 情報は広く浅くなりがち	保険加入が必要な場合、一部の官公庁など大学を通じての申し込みを必要とする場合は「キャリア・就職支援イオフィス」にインターンシップ実習届を提出 (単位認定されないインターンシップは保険の補償対象外となるため、受け入れ先より保険加入を求められた場合は④を選択する)
メリット デメリット						
申し込み方法	学務情報システムまたは聴講票により履修登録 (第1学期の履修許可申請期間内) ※履修段階で企業等に所属している社会人学生は履修不可 事前相談:教育研究高度化センター (6144)	学生による受け入れ先への直接応募 (自由応募) 学務係へ参加届提出	学務部教務課大学院支援係 (6650) に連絡の上、システム登録 (11月まで) 学務係へ履修届提出	各自エントリー (自由応募) キャリア・就職支援オフィスに実習届を提出 (一部の官公庁)	各自エントリー (自由応募) (リクナビ・マイナビ等からのエントリー)	
単位認定	あり			なし		
指導教員への 連絡・同意	適宜	必須			適宜	
保険加入	必須			必須 (キャリア・就職支援オフィスに インターンシップ実習届を提出)	適宜	
参加人数 (自然研学生)	15名程度 (シラバス参照) (令和6年度:12名、令和5年度:10名)	例年数名 (令和6年度:2名、令和5年度:0名)	令和3年度よりトライアル (実績なし)	例年数十名程度	令和6年度インターンシップ企業 エントリー学生数 リクナビ利用 221名 マイナビ利用 423名	
受入機関 (受入実績は以下*)	県内・県外企業等 (要望あれば専任教員が調整)	受入受諾企業 (学生が探索)	国内大手企業	受入受諾企業 (学生が探索)		
参考サイト	自然研教育研究高度化センターHP インターンシップ *1		ジョブ型研究インターンシップ (先行的・試行的取組) 実施方針 (ガイドライン) (案) 等について *2	キャリア・就職支援オフィス インターンシップ *3		
企業実績 (順不同)	＜平成27-令和6年度実績＞ *グローバルウェア・ハズ・ジャパン、キャノンイメージングシステムズ、グリーンデバイス、新潟愛道、環境科学、キタック、EMS (イーエムエス)、ジョックス、システムスクエア、新潟県保健環境科学研究所、新潟県環境衛生研究所、ナミックス、鬼や福ふく、新潟県農業総合研究所作物研究センター、新潟県農業総合研究所畜産研究センター、新潟県農業総合研究所基盤研究部、新潟県内水面水産試験場、BSNアイネット、鈴木農園、ケミコン長岡、国土防災技術、水澤化学工業、新潟県森林研究所、北越コーポレーション、ほしゆう、ガソウ、新潟県環境分析センター、北陸地方整備局、雪国まいたけ、フルボン、NSS (エヌエスエス)、県央研究所、石本酒造、コロナ、新潟県農業総合研究所園芸研究センター、県都食品分析センター、ミズホ、建設環境研究所、バイオマスレジマーケティング、メビウス、スノーピーク、菊水酒造、越後製菓、北海道庁、カネコ種苗、デンカ、光科学イノベーションセンター、ADEKA、ハクサン	＜平成30-令和6年度実績＞ *日鉄ソリューションズ、KDDI総合研究所、富士通フロンテック、大衆物産、キタック、福田組、メビウス、エスケーリンク、三菱ケミカル、三祐コンサルティング、クックパッド、日本工営、三菱電機、hakkai、パナソニックコネクト、JAXA宇宙航空研究開発機構 	＜登録企業＞ *旭化成、日本エアー・リキード・ラボラトリーズ、Edulab、エリクソン・ジャパン、沖電気、花王、川研ファインケミカル、キャノン、京セラ、キリンHD、KHネオケム、コニカミノルタ、JX金属、塩野義製薬、島津製作所、シャープ、昭和電工、昭和電線HD、住友化学、住友ベークライト、セントラル硝子、ソフトバンク、第一生命保険、第一三共、タイセル、武田薬品工業、ちとせ研究所、中外製薬、東亜合成、東レ、トヨタ自動車、東京大学共同プラットフォーム開発、日本電信電話、日本ガイシ、パナソニック、日立製作所、富士通、プリチストン、三井化学、三井住友海上火災保険、三井不動産、三菱電機、三菱マテリアル、みずほフィナンシャルグループ	＜令和2年度実績＞ *JFEスチール、日東電工、日本工営、日産自動車、東京電力ホールディングス、建設技術研究所、富士電機、東洋製罐、出光興産、昭和電工、開発技建、梓設計、JFEエンジニアリング、京セラコミュニケーションシステム、東日本旅客鉄道、レイズネクスト、北海道電力、日本精工、グローバルウェア・ハズ・ジャパン、パシフィックコンサルタンツ、八千代エンジニアリング、日本電信電話	＜令和6年度エントリー実績＞ *富士フィルム、キャノン、ソニーグループ、クラレ、パナソニックグループ、日立製作所、旭化成、富士通、味の素、信越化学工業、サントリーグループ、村田製作所、AGC、カゴメ、日清食品、三菱瓦斯化学、など	